

読んで、言って、入れる



指導目標

○手指の巧緻性を高める。

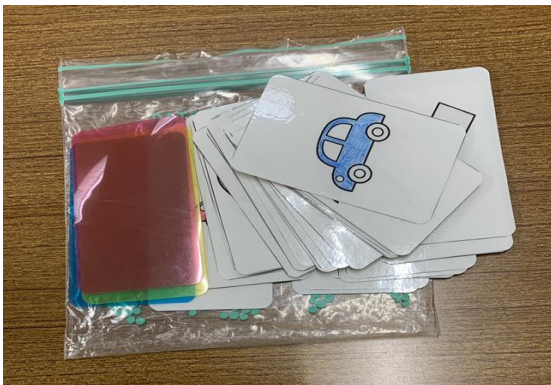
色が分かり、その色名を言う・その色の文字のマッチングができる。

指導方法

○仕切られたケースに書いてある文字（色数字）を読み、それに合った色のポンポンを書いてある数字の分箸でつまんでケースに入れる。単色から複数色。

ポンポンの大きさも大・中・小を用意。

色・形の統合と分解



指導目標

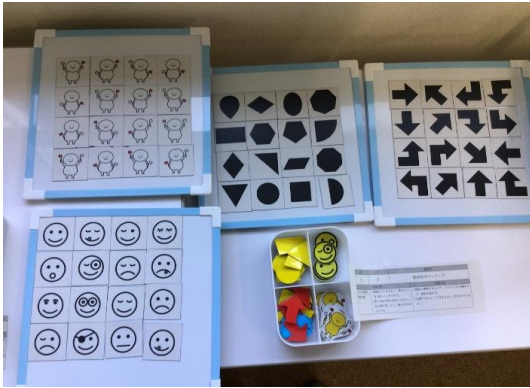
○色（赤青黄）、形（○△□やりんご、車等）の属性を組み合わせて、1つの物を作る。

○1つの物から、色と形の2つの属性を出す。

指導方法

①机上に絵カードを4～5種類並べる。教員は色カードと形カードの2種類を生徒に見せて「これとこれを合わせると何ができますか」と聞き、生徒が2種類のカードを組み合わせてできるカードを選べるように促す。②机上に色カードと形カードをそれぞれ2～4種類ずつ並べる。教員は絵カードを見せて「どれとどれを合わせると、これと同

絵合わせマッチング



指導目標

○課題をやりきるまで、集中して取り組むことができる。

○様々な絵や形を見比べながら、同じ物を探したり、組み合わせたりする。

指導方法

○複数の種類があるので、どれにするか選ばせて、意欲を高める。

○全部できたら、「できました」と声をかけさせる。

色のマッチング



指導目標

○細かい部分まで注目して、見比べたり合わせたりする力を高める。

○手指の操作性を高める。

指導方法

○実態に応じて、一つずつ洗濯ばさみを手渡す等、やりとりしながら最後まで取り組めるようにする。

○親指、人差し指、中指の三指を使って取り組めるように指導、助言する。

せんたくばさみで色分けしよう



指導目標

- 色の違いを捉え、弁別する。
- 色の違いを見極めることを通して集中力や手元を見る力を高める。
- 洗濯ばさみを使うことで手指の操作性を高める。
- 活動に見通しを持ち、課題をやりきる力をつける。

指導方法

- シートの色がついている部分に同じ色の洗濯ばさみを挟めるよう、声かけや指差し等で支援する。

色のマッキング



指導目標

- 色の違いを捉え、弁別して定められた場所に入れることができる。
- 色に注目したり、見比べたりしながら視知覚の認知を高める。
- 課題の見通しを持ち、最後までやり切る力を高める。
- 補助箸やトングを使い、手指の操作性を高める。

指導方法

- 底の色と同じ色のボールを見比べながら、箸やトングを使って集中して取り組めるように見守る。

～発展～

トレイと何種類かの図版を用意し、図版と同じようにトレイに入れることができるように見守る。○色と色名のマッキング学習では、教員が指示した色を選んだり、児童が選んだ色名を答えたりしながら指導支援を行う。○補助箸を使用し、箸が正しく使用できるように見守る。

色と文字のマッチング



指導目標

- 課題に集中して最後まで取り組めるようにする。
- 色と文字のマッチングをし、定められた場所に入れられるようにする。

指導方法

- 文字盤(ひらがな、カタカナ)を準備し、色と色名のマッチングを行う。

色分け



指導目標

- 色を見極める
- 手先を使って摘まむ経験を積む
- 何色かを答える話す力をつける
- 課題に集中して取り組む

指導方法

- 最後まで集中して取り組めるように見守る
- 「何色？」と聞きながら色を答えることができるのか、マッチングはできているのかに注目する。

摘まむ動きを確認しながら行う。

色分けポンポン



指導目標

○目で見て、つかんで、同じ色のところにいれる。色のマッチング。

また、入れる方法がトングやはし、手などに変えることで難易度が変わってきます。

指導方法

- ①容器（製氷皿）とポンポンを渡す。
- ②製氷皿の中にシールの色が貼っているので、それに合わせてぽんぽんを入れていく。8か所入れたら終わり。

色分け



指導目標

○色を見極める

○手先を使って摘まむ経験を積む

○何色かを答える話す力をつける

○課題に集中して取り組む

指導方法

○最後まで集中して取り組めるように見守る

○「何色？」と聞きながら色を答えることができるのか、マッチングはできているのかに注目する。

摘まむ動きを確認しながら行う。

イラストとシルエットのマッチング



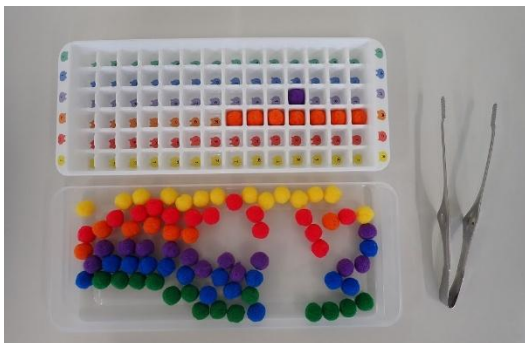
指導目標

- よく見て、物を見比べる力をつける。
- 指示したことに応じたり、表現できる言葉を増やしたりできるようにする。

指導方法

- 毎回同じではなく、①10枚カードを並べ、「○○はどれ？」と聞いて、選んでからマッチングする or ②1枚ずつ渡し、「これは何？」と聞いて、サインや言葉で答えてからマッチングする、2パターンで取り組み、言葉の理解面と表出面両方に取り組めるようにする。

トングで色分け



指導目標

- 細かい部分にも注目して、色を見比べたり、合わせたりする力を高める。
- 手指の操作性、巧緻性の向上。

指導方法

- 手を使わずにやり切れるよう言葉かけをする。手を使ったものはやり直す。
- 集中が途切れる場合は、トレーの向きを変える等、やり取りしながら最後までやりきれるように支援する。

どうぶつクリップ絵合わせ



指導目標

- 手指を使い、つまむ力を高める。
- 提示された分量を、最後までやりきる集中力を高める。

指導方法

- 全ての教材を提示し、自分で最後までやりきるようにする。
- 台を一つと必要な4つのクリップのみ提示して、一つずつ最後までやりきるようにする。

つまむ支援

- 指ぬきの手袋を用いて、使う指を明確にする。
- 手を添えて、持ち方を整える。

マトリクス



指導目標

- 縦と横を確認して2つの情報を処理して正しいものを選択する。

指導方法

- 最初は3色、3つの形で、考え方の説明をしてから徐々に数を増やした。形と色の他に、数の学習にも応用できるようになっている。

イラストのマッチング



指導目標

○イラストをよく見て、同じイラストを型はめできる。

○同じ名称の物（椅子・コップなど）を同じ箇所分類して型はめできる。

○教員とやり取りしながら最後まで完成させる。

指導方法

○色のカードのマッチングができるので、イラストのマッチングを目指したい。型はめの形式にすることで、しっかりと型がはまり、終点がわかり達成感が得られる。その後、分類へと移行できるといい。

○前後に好きな活動を取り入れることで、意欲につながられるようにする。

○最後までやりきることができるよう、初めのうちは誘導的な支援をする。

写真を見てブロックを組み立てよう



指導目標

○空間認知、上下の関係、形・色の理解を高める。

○目と手の協応動作、手指の巧緻性を高める。

指導方法

○完成写真と同じように、ブロックを組み立てる。

2つの型にプットイン



指導目標

○目と手で穴を認識して、2つの異なる形の物を穴に入れる。

○つまんでいない方の手で、容器を持ち、両手を使って取り組む。

指導方法

○黒いトレイの中に、おはじきと大きいビーズの2種類のパーツとタッパーの容器を出しておく。片方の手はパーツを持つように促し、もう一方の手で容器が逃げて行かないように持つように促す。

お花さし



指導目標

○穴の色と花の色のマッチングを行う(色の弁別)

○つまむ動作を身に着ける。

○目と手の協応動作を高める。

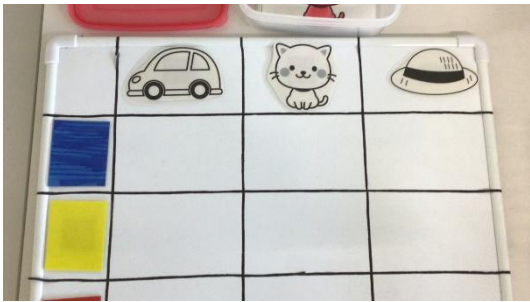
指導方法

○穴を注視するように言葉かけを行う。

○色のマッチングができるように言葉かけを行う。

○花の配置の規則性に気が付くように言葉かけを行う。(横列は同じ花、一穴おきに花をさす)

マトリックス



指導目標

○複数の見方を促し、ものや色の概念形成をする（赤い○○・青い○○等）

○着席し落ち着いて活動し、目線の動きを定める。

○手先を使用して、物を扱う。

指導方法

○「これは何？」と聞きながら、色カードとイラストカードを縦軸と横軸に並べ教材を提示する。○間違えていても自分の力でできるよう見守る。○児童からの「できた」報告を待ち、確認を行う。

…間違い有⇒間違えている部分のみリトライさせる。

…全問正解⇒一つ一つカードを取りながら、「これは何？」（「赤色のネコ」等）答えながら、箱にしまう。児童が自分で進め始められたら、見守る。

同じ物を重ねよう



指導目標

○形に注目し、正しく組み合わせることがができる。

指導方法

○児童の実態に応じた数のおわん、皿、コップ等を提示する。

○1つずつ提示する、もしくは複数セット同時に提示する等、実態に応じて提示方法を変える。

○「できました」等、やり取りできるようにする。

色・形・マッチング・弁別・大小・視点を変える学習



指導目標

- 色や形の理解を進める。
- 他者（教員）の話聞き、それを理解し正しく応じる力を育てる。物の見方を切り替えて考えて答える力を育てる。

指導方法

- 生徒の実態に合わせて2~4色程度の○△□等の厚紙を作る。またその際、大中小の大きさを作る。それらを使い、色・形・マッチング・弁別大小の学習を生徒に実態に合わせて行う。
- 「○をつくってください」や「赤い□をつくってください」等、子どもの実態に応じて行う。また「色」で弁別を行った後に、同じもので「形」で弁別を行う。

花飾り



指導目標

- 衣服のボタン付けができるように、楽しみながら活動に取り組む
- ボタンを付ける、外すといった一連の流れを理解し、日常生活に根ざし衣服の着脱する力を育てる
- 色の区別を理解する

指導方法

- 教材を提示し、好きな色の花をつなげてブレスレットのようにしていく
- ボタン付けだけでなく、色の識別、赤や黄色といった色の名前を言い、生徒自身が色を区別できるかを確認する
- ボタンが付けられない場合は、こちらでやり方を提示する

お弁当ピック課題



指導目標

- 一定量の課題を最後まで集中してやりきる力を高める。
- 見比べて、同じ動物の仲間分けができるようにする。
- 目と手の協応力、手指の巧緻性を高める。

指導方法

- 実態に応じて、ピックの種類・数を増やして集中して取り組める時間を調整する。
- 慣れてきたら、「動物」「果物」「乗り物」など、上位概念で仲間分けができるよう、課題の難易度を上げていく。

色の弁別カード



指導目標

- 色の違いに気付き、色別に分ける。
- イラストの色に注目する。

指導方法

- 色のついた容器（引き出し）を実態にあわせた数だけ机の上に置き、イラストカードを提示する。
- 提示されたカードを生徒が受け取り、イラストと同じ色の容器（引き出し）に入れる
- 全部弁別できたら、容器（引き出し）をしまう。

筒のゴムを使つての紐通し、はめいた



指導目標

- 手指の操作性
- 指先の力を強くする
- 色ゴムと文字で書いた色のマッチング
- 困ったときに伝えられる力を育てる。

指導方法

○指示カード（色の名前が書いてある）を見て順番にゴム製の筒を紐に通していく。また写真の模様を見て、同じように板にゴムの筒をはめ込んでいく。わざと足りないように設定し、教員に「〇〇がたりません。〇〇を下さい」や「手伝ってください」などを伝える。

カラーボールマッチング



指導目標

- 見比べて色や数を合わせられるようにする。
- 一定量の課題を集中して最後までやりきる力を高める。

指導方法

○教員が見本を提示し、自分でできるよう見守る。
○最初は1～2色、2～3個程度から始めて徐々にボールの数と種類を増やす。

積み木でマッチング



指導目標

○見比べて色や数を合わせられるようにする。

○手指の操作性を高める

指導方法

○教員が見本を提示し、自分でできるよう見守る。

○難易度を上げながら進める。

色合わせマッチング



指導目標

○細かい部分も見比べ色合わせをする力を高める。

○指先を使い、ストローの穴に割り箸を通せるようにする。

指導方法

○同じ色のストローに割り箸を通す。

○色カードの上に置いていく。

○実態に応じて数を増やしたり減らしたりする。

仲間分け



指導目標

○物の名詞やジャンルに注目して、仲間分けする力を高める。

○課題に集中して最後まで取り組む力を高める。

指導方法

○教材を提示し、一枚ずつつまみ穴に入れて仲間分けしていくよう促す。

○難しい場合は、名詞を言葉で伝えたり指差ししたりして、入れていけるよう支援する。

3色ボールペンの組み立て



指導目標

○3色のタイプや部品の違うボールペンの組み立てを色や部位に注意しながら間違えずに組み立てる。

指導方法

○3色のボールペンをそれぞれ一度生徒の前で分解し、色の違うボールペンの部品の違いを理解させ、組み立て方法を確認させる。3色が難しい生徒には1色から取り組ませる。また、慣れてきたら、スピードや時間を考えながら取り組めるように促す。

イラストのマッチング



指導目標

○細かい部分も注目して、見比べたり合わせたりする力を高める。

○一定量の課題を集中して最後までやりきる力を高める。

指導方法

○教材を提示し、自分の力で最後までできるように見守る。

○集中が途切れる場合は、一枚（又は数枚）ずつカードを手渡しする等、やり取りしながら最後までやりきれるように支援する。

○イラストの大きさや、色、提示方法を変える。

色マッチング



指導目標

○複数の色の弁別ができる。

○手指の巧緻性を高める。

○足りない色を他者に要求することができる。

指導方法

○初めは少ない種類から始め、徐々に色の種類を増やしていく。

○ケースの開け閉めが難しい場合は、事前に蓋を開けておき、徐々に自分でできる部分を増やしていく。

○欠品要求をねらう場合、初めは目の前の教員に「○色●個ください」と要求できるようにし、慣れてきたら違う先生、他クラスの先生など、要求できる教員の幅を広げていく。

ペグさし



指導目標

- 達成感や満足感を味わう中で、落ち着いて活動に取り組む習慣を身に付ける。
- 見通しを持って学習に取り組み、指示された物を取る等、言語指示やマッチングによって正しく形を弁別したりすることができるようにする。

指導方法

- 「できた」という達成感や満足感を味わわせ、「もっとやりたい」という気持ちを高められるような課題設定を行う。整った環境の中で集中して活動をさせることで、着席して落ち着いて学習する習慣を付ける。
- 一人では達成できない時には、適切な手段で教員に手助けを求められるように支援する。

同じ名詞×違うイラストの分類



指導目標

- 同じ名前でも色々な物があることを理解し、分類できるようになる。
- 課題に集中して取り組める時間をのばす。

指導方法

- カードを順不同に渡し、6分割されたケースの各区画に貼られている同じ名詞のイラストの上に入れて分類する。
- ケースに貼るイラストを文字に変えたり、分類するイラストを線画や白黒、カラー、写真等様々な素材のものを用意したりすることで難易度を変えることもできる。

絵と絵、文字と絵でマッチング



指導目標

- 描かれている絵が何を表しているかを知る。
- ①描いてある絵を見て手元にある同じ絵カードを貼ることができる。
- ②書いてある文字を見て手元にある絵カードを貼ることができる。
- ③書いてある文字と絵カードをマッチングさせた後、机をたたいて（音を合わせて）文字を読むことができる。

指導方法

発達段階によって絵と絵なのか文字と絵なのか文字を読むのかを決める

- 4～6枚のカードを見せてどのカードに取り組むかを選択（2枚～3枚くらい）。

1枚のカードに16個前後の絵が描かれている。

- ①絵と絵のマッチング。
- ②文字と絵のマッチング。
- ③書かれている文字を読む。
- ④生徒によっては、書いてある文字を視写することも可能（その場合は視写する紙は別に用意する）。

のりものマトリックス



指導目標

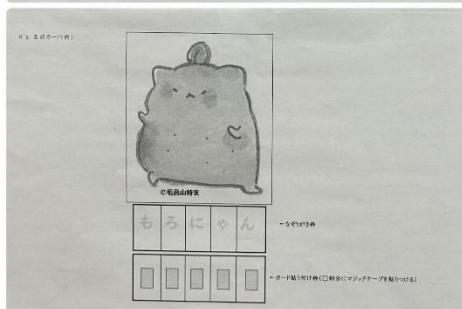
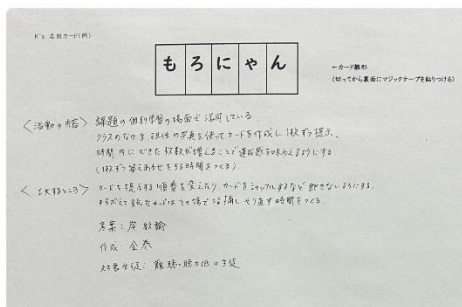
○乗り物のイラストを使用し、形と色のマトリックスを完成させることができる。

指導方法

○貼るカードを単純に位置で覚えられないよう、毎回縦軸と横軸の要素の並びを変えて取り組ませる。

○「赤い車はどれ？」などの質問に正しいカードを指して答えられるようにする。「赤い車と緑の電車をください」のように、複数の情報を短期記憶して選択する等、課題を膨らませていくこともできる。

K's 名前カード



指導目標

○細かい部分も注目して見比べたり合わせたりする力を高める。

○一定量の課題を集中して最後までやりきる力を高める。

指導方法

○教材を提示し、自分の力で最後までできるように見守る。

○慣れてきたら、カードをシャッフルするなど楽しみながら最後までやりきれるように支援する。